

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2012-200135(P2012-200135A)

【公開日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2012-39488(P2012-39488)

【国際特許分類】

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

B 6 0 L 11/18 (2006.01)

B 6 0 L 5/00 (2006.01)

B 6 0 M 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 17/00 B

B 6 0 L 11/18 C

B 6 0 L 5/00 B

B 6 0 M 7/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送電装置が出力する高周波電圧を磁界共鳴方式によって受電装置に給電する給電システムの動作方法であって、

前記送電装置は、前記高周波電圧の周波数を順次高くし、

前記受電装置は、前記高周波電圧の周波数が高くなるごとに、前記高周波電圧によって給電される電力値を検出し、検出した電力値を前記送電装置に返信し、

前記送電装置は、新たに検出された電力値が前回検出された電力値未満になるまで、前記高周波電圧の周波数を順次高くし、

前記送電装置は、新たに検出された電力値が前回検出された電力値未満になると、一定期間、又は前記一定期間終了前に前記送電装置と前記受電装置との位置関係が変化するまでの間、前記高周波電圧を電力値が前回検出された時の周波数とすることを特徴とする給電システムの動作方法。

【請求項 2】

送電装置が出力する高周波電圧を磁界共鳴方式によって受電装置に給電する給電システムの動作方法であって、

前記送電装置は、前記高周波電圧の周波数を N (N は 3 以上の自然数) 段階順次高くし、

前記送電装置は、前記高周波電圧の周波数が高くなるごとに、前記高周波電圧によって給電される電力値を検出し、検出した電力値を前記送電装置に返信し、

前記高周波電圧が i (i は 2 乃至 N - 1 のいずれか) 段階目の周波数時に検出される電力値は、前記高周波電圧が i - 1 段階目の周波数時に検出される電力値以上であり、

前記高周波電圧が N 段階目の周波数時に検出される電力値は、前記高周波電圧が N - 1 段階目の周波数時に検出される電力値未満であり、

前記送電装置は、前記高周波電圧がN段階目の周波数となった後に、一定期間、又は前記一定期間終了前に前記送電装置と前記受電装置との位置関係が変化するまでの間、前記高周波電圧をN - 1段階目の周波数とすることを特徴とする給電システムの駆動方法。